

2020年度事業報告書

任意団体INOLIN JAPAN（いのりんジャパン）

1.事業の成果

コロナ渦の中で従来の活動が困難な状況からの年度だったが新入園・新入学のこどもたちのためにハンドメイド支援を実施

1月新見市の床下浸水世帯の泥掻き、床下環境改善支援、2月には2019年9月に発生した新見市の土砂を河川から除去していく新見クリーン作戦を実施、50名以上の参加、約20tの土砂を除去することが出来た。そのことにより雨の不安を流域住民から軽減し、雨による河川増水リスクを軽減することが出来た。

2020年度の新しい取り組みとして環境衛生支援が始まり、コロナ渦の中、初期段階で不足しているマスクを手作りで制作し、配布、実費配布、オフィスカリトス様との協力で次亜塩素酸水の実費配布を行う。トータルケアセンター様より医療用マスクをご支援いただき真備町内の医療・福祉施設に配布。またNPO法人GiveStrength様との連携によりインフルエンザやコロナウィルスに効果の認められるウィルス抑制エアコンフィルターNEOZONEの販売を開始するなど真備だけではなく、岡山、倉敷を中心とした環境衛生支援をすることが出来た。実施する中で肌が敏感で不織布のマスクが使えない方、アルコールで肌荒れをする方などの感謝の声を多くいただいた。

7月に発生した九州を中心とした豪雨災害に関連して古タオルを初期段階で集めて発送する物資支援を実施、約36000枚の古タオルと飲料、食料、衛生用品などを横田運送様、智商運輸様協力の元、九州キリスト災害支援センター様、くまもと友救の会様、九州内の6つのボランティアセンター様等におつなぎすることができた。資機材提供、家電収集プロジェクト、球磨村の小学生を対象に倉敷青年会議所様と連携して実施した7月豪雨被災地のひとつ球磨村の小学生にプレゼントを届ける企画「輝きMORIMORI」に加えて現地に何度も足を運び、現地での作業、雑巾の支援も実施、支援が行き届いていない地域の調査などを緊急支援ネットワーク熊本様と連携して行う。この中でコロナ渦の中でも情報収集が出来るようにスプレットシートを活用したオンラインでリアルタイムに被災地の地町村の情報を集めることを可能にし実施し九州、島根県の情報を把握することが出来た。

この取り組みにより直接現地に行かなくても現地の方に直接現場状況をお聞きすることが出来、情報をまとめる仕組みが構築出来たので今後の活動等の費用や時間を大きく節約することが可能となった。

7月豪雨支援の中から新しくスタートした取り組みとしてアット笠岡様、有限会社MSM様との連携にて「古タオルストックプロジェクト」倉敷市学童保育連絡協議会様、サムエル国際キリスト教学園様との連携で「アルミ缶集め隊」を開始、現在も広く協力事業所、団体を求めている。7月豪雨に続いて発生した東北の豪雨に際し、迅速に対応し2000枚の古タオルをおつなぎすることができた。

真備内においてはおひさまマルシェに定期的に参加、ハッピーまび様と連携して地域住民の方との交流の場となった。

晴れの国たすけあいプロジェクト様と連携し費用が補助されないケースの引っ越し案件などを支援した。

春に予定されていた第3回KIZUNAフェスタは新型コロナのため延期となるが駐車場予定地となっていた場所の草刈り、木の伐採、災害ゴミ撤去を行う。

球磨川流域の災害復興の状況と真備での経験等から床下環境改善のために今できることはなにか？というところから真備の竹林問題と被災地の環境改善をあわせた取り組みを開始。真備の復興に向けての産業や事業につながればとチーム山本様、竹あかり様、NPO法人こもれびの里様などの連携団体と協力し「竹」の問題に取り組む中で背景にある災害からの復興、住民の方の心情に深く寄り添うことが出来た。

岡山市内にて子どもの居場所サポート隊様と連携して「めざせ☆キッズ防災士！」を実施、大元学区の子ども12名を対象に防災教育をいのちを守ることをテーマに分かりやすく伝えた。アンケート結果も非常に効果が実感出来るものだった。

2. 事業の実施に関する事項（※は他団体と費用分担をして開催している事業）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数 (名簿に登録のある者のみ)	ボランティア参加数(連携団体含む)	受益対象者の範囲及び人数	支出額概算 (人件費は除く)(千円)
※新見市水害支援	床下・用水路・側溝などの清掃等	1月	新見市	10人	8人	高尾地域 約10世帯	140
※ハンドメイド支援	新入園・新入学の子どもたちのためのハンドメイド支援	1~3月	真備町	2人	4人	真備町の新入園・新入学を迎える子どもを持つ世帯	10
新見クリーン作戦	水害により河川に流入した土石流による堆積物の除去	2月	新見市	10	約40人	実施河川流域世帯 約300世帯	20
防災座談会	災害時の非常食体験及び防災口座	2月	真備町	4人	2人	12人	10
環境衛生支援	手作りマスク・医療用マスク・次亜塩素酸水支援及びNEOZONEの販売	1~12月	岡山市・倉敷市を中心に関東方面まで含む	4人	0人	真備町内保育園、幼稚園、医療・福祉施設及び岡山倉敷を中心とした住民	200
※7月豪雨支援	古タオル及び物資緊急支	7~12月	九州(特に熊本) 中国・東	16人	約70人 提供:約120個	九州全域のボランティアセ	650

	援・作業支援・調査・資機材支援		北（特に山形）		人・団体（あるく分除く）	ンター・被災地住民	
※家電収集プロジェクト	岡山県で家電を集め熊本へ支援	8-9月	岡山県→八代・人吉	6人	6人	40点の家電を八代・人吉・球磨へ	150
※古タオルストックプロジェクト	古タオルを備蓄し速やかに届ける仕組み作り	8~12月	岡山県・福山市	16人	30人	山形へ2000枚 熊本5000枚	10 (熊本分は家電収集に含む)
アルミ缶集め隊	アルミ缶と古タオルを集め頂く環境教育支援	9月~12月	岡山市・倉敷市	3人	協力施設3（うち1つは倉敷市内学童施設）の関係者	協力施設3（うち1つは倉敷市内学童施設）の関係者	5
※おひさまマルシェ	真備町内で開催されるマルシェへの参加	2~12月	真備町	7人	4人	参加者一回あたり約200人	20
※晴れの国たすけあいプロジェクト連携	引っ越し等住民の方への支援・会議への参加	1~12月	倉敷市	7人	20人	15世帯	50
※竹林整備	被災後自力で維持が困難になっている竹林の整備	10~12月	真備町	9人	25人	6世帯 11反分（1反=約300坪）	200
※めざせ☆キッズ防災士！	実践的防災口座及び災害食体験	12月	岡山市	7人	2人	12人	3

3. 受託した助成金

(1) ももたろう基金（みんなでつくる財団おかやま）

事業名：新見市の被災家屋作業・公共エリア復旧を促進する活動

資機材消耗品・燃料代・人件費～10万円

(2) ももたろう基金【第10次助成】（みんなでつくる財団おかやま）

事業名：真備町のコミュニティ支援・子ども支援を通して町を活性化する活動

人件費・燃料代・消耗品～30万円

(3) 赤い羽根災害ボランティアNPO活動募金

事業名：新見市水害を受けた家屋復旧及び地域コミュニティのための支援促進活動

物品資材費・人件費・燃料代～50万円（2019年度内事業に対する実績分）

(4) 被災地の復興に向けた新たな仕組みづくり等活動助成事業（倉敷市社会福祉協議会）

資機材・燃料代～7万円

4. 2020年度連携・調整実績団体・企業（匿名希望は除く）※順不問・敬称略

倉敷市学童保育連絡協議会・倉敷市社会福祉協議会・倉敷市真備支所産業課

倉敷市真備町建設課・倉敷市一般廃棄物対策課・オリーブの会

倉敷市真備町緑化協会・新見市社会福祉協議会・公益社団法人倉敷青年会議所

一般社団法人ひとよし球磨青年会議所・岡山みらいライオンズクラブ

一般社団法人GiveStrength・国土交通省・手打ちうどんさるや・

公益財団法人みんなでつくる財団おかやま・横田運送有限会社・智商運輸

有限会社MSM・株式会社伊藤園倉敷支店・ホワイトサウンド with スタジオ

井原鉄道株式会社・株式会社タイペックス・災害支援ネットワークおかやま

真備洗浄@あらいぐま岡山・川辺復興プロジェクトあるく

緊急支援ネットワーク熊本・チーム山本・一般社団法人ぐるーん

認定NPO法人ペアレント・サポートすてっぷ・一般社団法人はれとこ

災害支援アット笠岡・災害NPO旅商人・災害支援団体かわづ

NPO法人グリーンバード岡山チーム・災害支援ネットワークNPOかけはし

災害支援団体かわづ・公益財団法人YMCAせとうち・epoおかやま笑顔プロジェクト

一般社団法人おいでんせえ岡山・真備再生ベース竹燈-たけあかり-

地域活性NPOきばいやんせ岡山・サンサポートオカヤマ・くまもと友救の会

め組JAPAN & HAPPY AMILE PROJECT・Team桃太郎・スマイリング

西日本豪雨災害『大切なものの』無償応急処置、出来る事を出来るだけチーム

NPO法人九州キリスト災害支援センター・薪割りプロジェクト

NPO法人才カヤマビューティサミット・国際協力NGOジョイセフ